

～令和7年度開講～

地域未来創生スクール

第1期生 募集要項



一般財団法人

地域総合整備財団〈ふるさと財団〉
Japan Foundation For Regional Vitalization

1 目的

- ・多くの地方自治体が人口減少や産業の衰退などの地域課題を抱えている中で、課題解決のノウハウをもつ人材を育成することが急務となっています。
- ・ふるさと財団は、これまでの事業運営の中で蓄積してきたリソース・ノウハウを活用して一流の講師陣で構成する「地域未来創生スクール」を開講します。
- ・当スクールでは地域の未来を担う実践力を備えた人材を育成することにより、地方自治体をはじめ地域づくりを担う民間の皆さまに貢献いたします。



2 特徴

(1) 実践力の高い講座の提供

地域づくりに高い知見をもつ学識者や経験豊富な実務家等の講師陣から地域課題に対するアプローチ手法を学び、地域課題に即した対応力を身につける「**実践型講義**」と「**プロセスデザイン研修**」を提供します。

(2) 一流講師陣との人的ネットワークの形成

地域経済活性化、関係人口・移住、都市政策等、様々な分野で活躍されている一流講師陣と受講生が**対面形式**で一同に会し、講師陣・受講生相互のコミュニケーションを図ることにより、人的ネットワークが形成でき将来の大きな財産につながります。



3 主催者メッセージ

末宗 徹郎（一般財団法人地域総合整備財団 理事長）



「地域未来創生スクール」は地域課題を抱える地方自治体職員等を対象として、地域づくりを担う実践的な人材育成を目的とする講座です。

全国各地から「やる気と熱意」にあふれる方々にぜひご受講いただきたいと考えておりますので、奮ってご応募ください。経験豊富な講師陣と財団のスタッフが皆様にお会いできることを楽しみにしております。

4

講座概要

(1) 授業タイプ

①実践型講義 (1コマ90分、計12コマ)

(敬称略)

	テーマ	講師名	所属
	地域づくり論	小田切 徳美	明治大学 農学部 教授
【1コマ】	農山漁村発イノベーションを現場から読み解く	関司 直也	法政大学 現代福祉学部 教授
	観光まちづくりの実践と展望	梅川 智也	國學院大學 観光まちづくり学部 教授
	食を活かした地域ブランディング	金丸 弘美	食環境ジャーナリスト ・食総合プロデューサー
	地域資源を活用した循環型のまちづくり	河野 公彦	inc1 合同会社 代表
【2コマ】	地域づくりの新しい仲間・関係人口	田中 輝美	島根県立大学 地域政策学部 准教授
	コミュニティ再生と地域運営	若菜 千穂	NPO法人いわて地域づくり支援センター 常務理事
【4コマ】	人口減少時代の都市政策	野澤 千絵	明治大学 政治経済学部 教授
	歴史・文化資源を活用したまちづくり	藤原 岳史	株式会社NOTE 代表取締役
	地域脱炭素のまちづくり	重藤 さわ子	事業構想大学院大学 教授
	公民共創によるまちづくり	足立 文	株式会社日本経済研究所 執行役員 公共デザイン本部長
	(特別講義) 人口減少に打ち克つ地域づくり	増田 寛也	日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長

実践型講義担当講師紹介

【総論】



テーマ：地域づくり論

講師：小田切 徳美（明治大学 農学部 教授）

「地域づくり」とは、地域の新しい仕組みを「つくる」ことを意味しています。現代に即して言えば、「人口が減少しても、地域で幸せに住み続けること」を住民の力、関係人口等の外部の力、自治体の力を糾合して推し進めることです。その体系と具体策を論じます。



テーマ：農山漁村発イノベーションを現場から読み解く

講師：冨司 直也（法政大学 現代福祉学部 教授）

第1次産業を主要な産業としてきた農山漁村では、多様な地域資源や分野、主体を組み合わせ、新しい事業の創出を目指す「農山漁村発イノベーション」の動きが立ち上がり、政策的な支援も始まっています。その現場での動きを捉え、求められる要点を考えます。



テーマ：観光まちづくりの実践と展望

講師：梅川 智也（國學院大学 観光まちづくり学部 教授）

観光による地域の活性化・再生を進める際、地域を上手くマネジメントする「観光まちづくり」という考え方が重要となります。その要諦は①状況把握、②戦略策定、③魅力創出、④滞在化・平準化、⑤保存・活用、⑥組織・人材、⑦ブランド形成、⑧財源確保、⑨危機管理などですが、中でも地域の将来「ビジョン」、それを実現させる「組織」、そして組織を維持し、ビジョンを実現するための「財源」の3つについて分かりやすく解説します。

【ついに】



テーマ：食を活かした地域ブランディング

講師：金丸 弘美（食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー）

農産物のブランド化には食のテキスト化と参加型の食のワークショップが大きな力になります。食材の品種、栽培歴、栄養価、食べ方までを提案するものです。商取引や子どもたちの教育や体験農業などで、具体的に語ることができるようになり訴求力も高まる地域ブランディングの仕組みを、事例をもとに説明します。



テーマ：地域資源を活用した循環型のまちづくり

講師：河野 公彦（inc1合同会社 代表）

波佐見焼で人気を博す町で抱えていた積年の課題が廃石膏のリサイクルでした。しかもそれに伴うリスクも高まっていました。サステナブルが求められる時代でどのように循環型のまちづくりをしてきたのか。その取り組み事例を中心に全貌、意味、ノウハウ等を多面的・多目的に学び、他地域でも応用できる講義にします。

【ついに】



テーマ：地域づくりの新しい仲間・関係人口

講師：田中 輝美（島根県立大学 地域政策学部 准教授）

関係人口という言葉聞いたことがあるでしょうか。その地域に住んでいなくても、地域に関わり、一緒に地域づくりに取り組む外にいる仲間です。講義では、関係人口と地域の具体的な協働事例のほか、移住・定住、交流・観光との違いや連携について学びます。

【ひと】



テーマ：コミュニティ再生と地域運営

講師：若菜 千穂（NPO法人いわて地域づくり支援センター 常務理事）

東北の農山村地域を対象に住民主体の地域づくりや地域運営組織形成の支援を行っています。住民自治のあり方は地域それぞれで、そのため地域運営のあり方も異なります。住民主体の地域づくりを進めるために求められる地域の捉え方や目指す姿、多様な主体同士の信頼関係に基づく丁寧な対話のはじめ方など具体的な支援プロセスの作り方について現場視点でお話しできればと思います。

【まち】



テーマ：人口減少時代の都市政策

講師：野澤 千絵（明治大学 政治経済学部 教授）

本格的な人口減少時代の中では、人口を奪い合うのではなく、人口密度を維持・向上しながら、街の世代交代を進め、広域的にも各地域の生活がそれなりに成り立つ形の都市政策が必要です。本講義では、立地の観点もふまえた移住者支援政策・空き家活用・土地利用コントロール等の講義を進めていきます。



テーマ：歴史・文化資源を活用したまちづくり

講師：藤原 岳史（株式会社NOTE 代表取締役）

歴史・文化資源を活用して、地域の暮らし文化を100年先の未来に繋げるためのまちづくりを全国で展開しています。「豊かな国土づくり」に向けて、仕事や経済、文化や観光、まちづくりや開発の概念をこれからの日本の暮らしを描きながら皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



テーマ：地域脱炭素のまちづくり

講師：重藤 さわ子（事業構想大学院大学 教授）

地域の持続可能戦略を考えるうえで、脱炭素は大きな課題です。本講義では「グローバルな環境変化と地域」という文脈から地域における脱炭素の意義について解説します。さらに、持続可能なまちづくりにつなげていくための方法論を現在の課題と共に考えます。



テーマ：公民共創によるまちづくり

講師：足立 文（株式会社日本経済研究所 執行役員 公共デザイン本部長）

今、地域は、人口減少等様々な課題を抱えており、全てに行政が対応できる時代ではなくなっています。一方で、地域企業や住民等が担い手となって、地域の資源を活かして様々なサービスを提供する動きが出ています。公民連携は、時代やニーズに応じて進化する手法です。これからのまちづくりを支える手法を考えてみませんか。

【特別講義】



テーマ：人口減少に打ち克つ地域づくり

講師：増田 寛也（日本郵政株式会社 取締役兼代表執行役社長）

本格的な人口減少時代を迎え、全国の自治体がその克服策を模索しています。自然減、社会減それぞれに対するアプローチも異なります。住民意識、共助とコミュニティ、広域連携、二地域居住などを手がかりに、縮小社会に立ち向かうヒントを提案します。

②プロセスデザイン研修

事例分析講義【120分×3コマ】

- I. テーマごとにそれぞれの分野において活躍している著名な実務家が実際に地域の課題解決に携わった事例を題材に、**実務家（メイン講師）と討論者がペア**になり、事例分析講義を行います。
- II. 講義では、**実務家（メイン講師）**が取組んだ事例を説明し、それに対して、**討論者が要所所で質問や意見を述べる**ことにより、**事業成功のポイントや困難に直面した際の解決策を引き出します**。
- これらにより、地域課題の解決方法を具体的に学ぶことができる「**濃密なノウハウ伝道場**」を提供します。

(敬称略)

テーマ	メイン講師	所属	討論者	所属
【しごと】 地域資源活用によるビジネス創出 ～いなかビジネス教えちゃる～	畦地 履正	株式会社四万十ドラマ 代表取締役	小田切 徳美	明治大学 農学部 教授
【ひと】 関係人口創出・移住 ～私たちはローカルで幸せを見つける～	指出 一正	株式会社ソトコト ・ネットワーク 執行役員 『ソトコト』編集長	関司 直也	法政大学 現代福祉学部 教授
【まち】 応援の連鎖がまちを変える ～日南市・油津商店街にみる 新しい地方創生のかたち～	木藤 亮太	株式会社油津応援団 取締役	根岸 裕孝	宮崎大学 地域資源創成学部長 教授



現地視察【1泊2日】

- I. 受講生は**3テーマから1テーマ（1地域）**を選択し、現地を視察します。
- II. 実務家が課題解決に関わった地域を視察し、事業推進の主体となった地域住民や地方自治体等へのヒアリングを通じて、**実務家講師が取組んだ事業の理解を深めます**。

テーマ	視察先
【しごと】 地域資源活用によるビジネス創出 ～いなかビジネス教えちゃる～	山形県 庄内町
【ひと】 関係人口創出・移住 ～私たちはローカルで幸せを見つける～	島根県 出雲市・松江市他
【まち】 応援の連鎖がまちを変える ～日南市・油津商店街にみる新しい地方創生のかたち～	宮崎県 日南市



発表準備【90分×1コマ】、発表・講評【90分×3コマ】

現地視察した内容を踏まえ、**グループごとに課題解決手法の検討や提案の発表**を行うことで地域課題への理解を深めます。また取組手法を学ぶことにより、受講生の地元が抱える課題解決に繋がる手法を身につけます。

※提案発表の作成に当たり、メイン講師からのアドバイス（オンライン形式）を受けることができます。

プロセスデザイン研修担当講師紹介

【テーマ：しごと】地域資源活用によるビジネス創出～いなかビジネス教えちやる～



実務家講師：畦地 履正（株式会社四万十ドラマ 代表取締役）

いなかでも「こんなことをしてる・こんなことができる」という希望に対する答えは現場にあります。あしもとにあるものをもう一度見直すことによって宝物が生まれた瞬間を、皆さんと一緒に体感していきます。そして今度は「皆さんの宝物」を一緒に探しにいきましょう。

討論者：小田切 徳美（明治大学 農学部 教授）

地域資源ビジネス創出の面で、各地で多彩な成果を出している畦地講師が、現場で何に注目し、何に着手したのか。この研修で、そのプロセスと勘所が明らかになります。講師とのやり取りにより、こうした「見える化」をお手伝いさせていただきます。



【テーマ：ひと】関係人口創出・移住～私たちはローカルで幸せを見つける～



実務家講師：指出 一正（株式会社ソトコト・ネットワーク 執行役員 『ソトコト』編集長）

「観光以上、移住未満の第三の人口」と称される関係人口。各地で人口減少・高齢化が進むなか、地域づくりの担い手としての存在に期待が集まっています。関係人口とは何か？ 関係人口が生まれることによる地域の変化は？ どう関係人口や移住者を呼び込むかなど、2012年にスタートした島根県の関係人口講座「しまコトアカデミー」をはじめ、全国の関係人口創出と移住促進の好例をもとに、実態と背景、傾向をわかりやすく解説していきます。

討論者：関司 直也（法政大学 現代福祉学部 教授）

関係人口と移住促進という手段は、地域づくりの文脈にどのように位置づけるのか。場所に根付いた地域住民の暮らしやなりわい、コミュニティに、外部人材はどのような役割を担うことができるのか。両者が関わり合うプロセスに着目しながら、より良い出会いを生み出す要点を探ります。



【テーマ：まち】応援の連鎖がまちを変える～日南市・油津商店街にみる新しい地方創生のかたち～



実務家講師：木藤 亮太（株式会社油津応援団 取締役）

油津商店街(宮崎県日南市)の再生事業の話題を中心に、地方創生、まちづくり、地域活性化について分析し、人口減少の中でどのような手法が有効なのかを紐解きます。再生しない“再生事業”がはじまって12年。行政事業が先導した4年、民間の力で自走しはじめた4年、そしてコロナ禍を乗り越え新たなステージを目指した4年。それぞれのプロセスはどうデザインされ、実践され、変化に適應していったのかについて意見交換します。

討論者：根岸 裕孝（宮崎大学 地域資源創成学部長 教授）

実務家講師は「まちなか再生請負人」として、衰退の一途であった日南市油津商店街を見事に蘇らせました。家族で地域に飛び込み、多くの人を繋ぎ、夢をカタチにするチカラとはどのようなものなのかを体現したプロセスについてやりとりを通じてより具体的に引き出していきます。



(2) 講義日程

日程/時間割		1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	18:00 以降	
		10:00 - 10:30	10:30 - 12:00	13:00-14:30	14:40-16:10		16:20-17:50
第 1 回	6 月 4 日(水)		オリエンテーション 開講式	<講義 1>	<講義 2>	<講義 3>	交流会
	6 月 5 日(木)		<講義 4>	<講義 5>	<講義 6>		
第 2 回	7 月 31 日(木)	【プロセスデザイン研修】 <事例分析講義> (全員テーマ①～③に参加)				交流会	
		(テーマ①) 10:00 - 12:00	(テーマ②) 13:00 - 15:00	(テーマ③) 15:10 - 17:10			
	8 月 1 日(金)	<講義 7>	<講義 8>	<講義 9>			
第 3 回	9～10 月 (木～金) 1 泊 2 日	【プロセスデザイン研修】 <現地視察> (テーマごと) 畦地班：受講生 8 名程度、指出班：受講生 8 名程度、木藤班：受講生 8 名程度					
第 4 回	11 月 20 日(木)		<講義 10>	<講義 11>	<講義 12>		
	11 月 21 日(金)	【プロセスデザイン研修】 <プレゼン準備> (テーマごと)	【プロセスデザイン研修】 <発表・講評> (全員テーマ①～③に参加)			閉講式 交流会	
第 5 回	1 月下旬			13:30～17:30 地域再生マネージャー事業実績報告会		交流会	

※地域再生マネージャー事業実績報告会に参加し、全国各地の特色ある地域づくりの取組を学ぶことができます。
 ※講義終了後に複数回受講生と講師との間で交流会開催を予定しております。

(3) 開催場所

- ・実践型講義とプロセスデザイン研修（事例分析講義、プレゼン発表準備）は「**全国町村会館**」会議室にて実施します。
- ・プロセスデザイン研修（現地視察）は 3 グループ（各グループ 8 名程度）に分かれてグループごとにテーマに沿った地域を訪問し、視察を実施します。

(4) 修了者認定について

原則、次の 2 つの基準を満たした場合、修了証を授与します。

- ①実践型講義の 3 分の 2 以上に出席すること。
- ②プロセスデザイン研修に出席すること。

5

募集要領

- (1) 募集人数 25名程度
- (2) 対象者 地域づくりを経験している地方自治体職員、地域づくりを担う民間事業者等
- (3) 応募書類
- ①参加申込書【様式第1号】
 - ②経歴書【様式第2号】
- ※様式は、地域総合整備財団〈ふるさと財団〉ホームページからダウンロードをお願いいたします。
- (4) 応募方法
- 令和7年1月24日(金)** 必着で、連絡担当者より参加申込書【様式第1号】及び経歴書【様式第2号】を地域総合整備財団〈ふるさと財団〉地域再生部事業推進室へメール又は郵送にて提出してください。
- (5) 受講生の決定
- 応募書類をもとに受講生を選考し、**令和7年2月下旬**を目途に、応募者の連絡担当者および応募者のメールアドレス宛に採否を通知します。
- (6) 経費について
- ①受講料 : 1名あたり 20万円(教材費を含みます)
 - ②交通・宿泊費: 研修地(東京・現地調査先)までの往復旅費の交通費、研修中の宿泊費及び食事代は派遣元負担または自己負担となります。
- (7) その他
- ・研修を受講する際に必要となる宿泊場所については、原則各自で予約をしていただきます。ただし、プロセスデザイン研修の現地視察に係る宿泊は、事務局で予約を行います。
- (プロセスデザイン研修の現地視察に参加する上で、前泊・後泊を行う場合については、受講生にて宿泊場所の手配をお願いいたします。)
- ・交通・宿泊費の精算は、各自でご手配願います。

<問い合わせ先>

**一般財団法人地域総合整備財団〈ふるさと財団〉
地域再生部 地域再生課 事業推進室 担当：丸山・原田**

住 所 : 〒102-0083 東京都千代田区麴町 4-8-1 麴町クリスタルシティ東館 12F
電話番号 : 03 (3263) 5736
メールアドレス : saisei-ka@furusato-zaidan.or.jp